

人口の動き

人口	4,092 人
世帯数	955 世帯
出生	3 人
死亡	4 人
転入	8 人
転出	8 人

(8月末住民登録人口から)

ひがし しらかわ 広報

才 144 号

発行

東白川村役場総務課
岐阜県加茂郡東白川町
TEL (東白川) 18

印刷

中部印刷株式会社

昭和46年9月10日発行

近代化めざす 村の養蚕

新鮮な桑、清潔
な蚕室ですくすく
育つ蚕。

村の農業をささ
えるひとつ養蚕も
近代化への道をめ
ざしています。

—西洞安倍時夫さん宅にて



村では、ことしも病気の早期発見と、早期治療および予防を目的とした成人病検診を九月から行ないます。

毎年の例で、健康で働いている人ほど受検率が悪いいため、本号ではもういちど成人病というものはどんなものかを特集してみました。人のからだは、機械と同じように、調子のよいときの手入れがかんじんです。

健康で明るい家庭をささえる一家の主人、主婦の皆さんは、今いちど成人病の恐しさを認識し、そろって受検してください。

八月中旬の新聞で、寿命の伸びをはばむ成人病などという大きな見出しがあったことを記憶されていませんか。

こんど厚生省が発表した簡易生命表によると、日本人の平均寿命の伸びはわずか、男七十歳、女

七十五歳の壁を破るのは、容易でないといわれていました。

その壁となる大きな原因のひとつに、この成人病があげられています。

今生きている人が、将来どんな病気で死亡するかを推定すると、成人病である脳血管疾患と、心疾患が全体の四二・三パーセントを占めるといわれます。

成人病とはどんな病気でしょう。成人病とは、一般的に高血圧症、心臓病、ガン、肝臓病、糖尿病といった病気が含まれていますが、特別に決められているものではありません。

いままでも老人病として取り扱われてきた脳卒中、ガン、心臓病およびこれと深いつながりのある高血圧症といったものが、三十歳前後から上の成人層の人にみられるようになり、働きざかりの人がこれらの病気で死亡することが多くなったことから、だいたい三十歳前後から六十歳前後までの人がかかる病気のことといわれています。

のです。

無自覚に始まるのが成人病

成人病の中で最も高率を占める高血圧をとってみても、それは本人の知らないうちに進行していくことが多いのです。

特に東白川村では、高血圧の人が多いことは今までの調査ではつきりしています。

人は、どこか痛ければ、苦しければ、医者にもかかり真剣にそれを治そうと努力しますが、普通に働いて、どこも痛くないとなれば自分の健康管理を忘れがちです。

自覚症状のあまりない血圧ぐらいいかにしてはいけません。それが死亡原因第一位の脳卒中へとつながるのです。

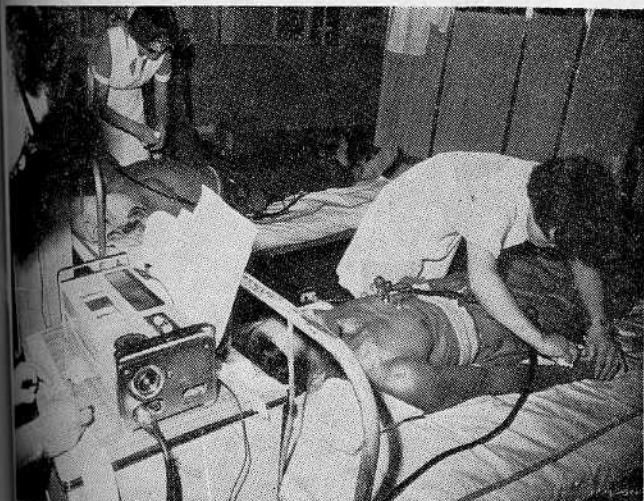
自分はいま、だれにも負けないくらい働ける、食欲もある、よく眠れる、医者などにかかったことがないか

たにこそ、成人病検診が必要なのです。

現在、健康だと思っているあなたが、自覚しないうちに成人病に冒されつつあるかも知れないのです。働きざかりの大きな支柱を、しあわせ家庭から奪っていくことがないよう一年にいちどは血圧だけでも測るよう習慣づけたいものです。

ことしも検診を行ないます

村では、病気の早期発見、早期



一 昨 年 の 検 診 の ひ と こ ま

けいじばん

■人の動きあれこれ



誕生おめでとう
ございます。

(七月)

(神 付) 村雲勝也 宏 樹

(大明神) 安江晴夫 里 佳 長女

(柏 本) 栗本勝也 美和子 長女

(八 月)

(大 沢) 今井照夫 愛 子 長女

(宮 代) 今井 準 恵 子 長女

(陰 地) 鈴木英二 賀南子 三女

(道 子)

(七 月)

(安 江) 正人 (大明神)

(田 口) みどり (大明神)

(八 月)

(田 口) 東 (上野田)

いつまでも
おしあわせに



多い高血圧などの成人病

早い発見と治

ことしも9月から

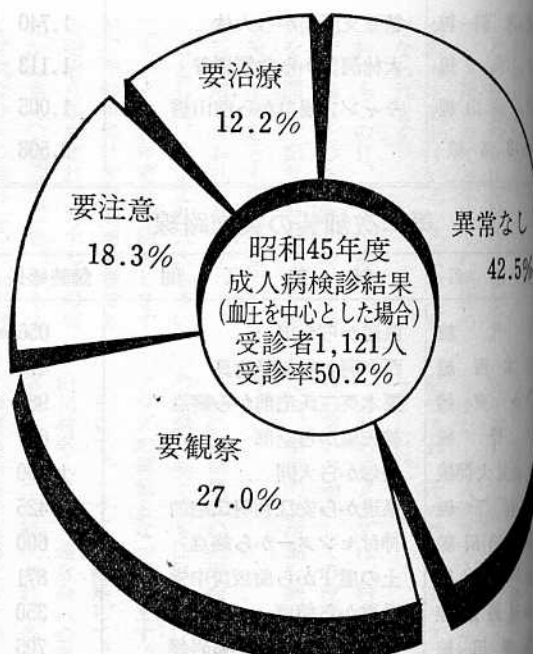
治療および予防を目標に、昭和三十五年から成人病検診を実施してきました。

昨年までは、全対象者の約半数しか検診を受けていません。

もっと多くのかたに、受けていただくためにことしは実施方法を変更しました。

まず、昨年の検診の結果、要注意、要観察の判定を受けた人の中から、特にもういちど精密検査を受けた方がよいと思われる人約四百七十人を対象とした検診を行います。

—実施期日



九月十六日から開始し、毎週水曜日の午前八時から午後四時まで行ないます。

一日に受診していただく人は約四十人で、あらかじめ本人に通知します。

当日は、遠い部落の人に関わりマクロパスで送迎しますので、指定された日に必ず受診するよう予定しておいてください。

—検診場所 東白川病院

—検査項目 血圧測定、眼底撮影、レントゲン撮影、心電図、尿検査、血液検査

—費用 全項目検診を受けると約六千円かかりますが、自己負担はいりません。

十一月から第一次検診を開始

第一次検診は、昨年検診を受けて異常なしと判定された人、昨年受診しなかった人、約千七百名を対象として実施します。

ことしは、ひとりでも多くの人

が受診できるよう実施場所を、約

十三カ所にする予定です。

第一次検診についてのくわしい

ことは、後日お知らせします。

成人病は、健康で働きのあなたの身辺にひそんでいます。いまいちどそのおそろしさを認識し、成人病検診を受ける心づもりをして

おいってください。

検診の後がたいせつです
成人病は、その人の素質と、長

よってつくられた糖尿病などです。今、「あなたは高血圧です。心臓が悪いですよ」といわれてもきつとまどうでしよう。

つけ物ひとつの漬けた、食べ

かた、魚一匹の味付け、仕事と休みのバランスのとおり方、おふろ場のくふう、坂道階段の昇りかた、

便所の改善に考えなければならな

いこと、生活の中のどれをとって

みても、今いちど考えなおして

みる必要があります。要注意、要観

察といわれた人、健康ですといわ

れた人にもたいせつなことです。

検診を受けることこそ、成人病

予防の出発点です。それにもまし

てあとの管理がたいせつなことは

いうまでもありません。成人病と

いわれた人は一刻も早く、手入れ

を始めてください。

すぐ治療する人、治療とまでい

かなくても月いちど血圧をはから

なければならぬ人、食べものに

注意する人、もう少しやせたほう

が良い人、人さまざまな手入れの

方法があります。

その方法を考えてゆくためにこ

のほど、成人病予防検診に基づい

た管理区分、指導区分ができました。

一年を通じ何かの形で、衛生

講話、保健指導を受けていただく

よう計画をたてています。

けいじはん

木材引取税の申告納入期限は伐採のあった月の翌月七日までとなっています。
まだ申告納入のすんでいないかたは、早急にすましまししょう。

■木材引取税の申告は早めに
担当は堀口医師で、毎週水曜日の午後となっています。

なお、助産婦による検診は、いままでとおり常時行なっていますので、利用ください。

東白川村母子健康センターの医師による検診は、今まで週二回行なっていました。が、さる八月一日から週一回となりま

した。
■母子センターの医師による検診日が変わりました

(七月)
(西洞) 安江 ぶくえ
(柏本) 村雲 志ん
(八月)
(柏本) 安江 貞治
(下親田) 安江 志な
(大明神) 松岡富治郎
(中通) 村雲 晴児



おなかをすくすく

第一次舗装の実施路線

路線名	舗装区間	舗装延長
本線	県道から終点	957m
須見線 (大開農道)	南北橋から大洞橋	1,948
付線	県道から土の屋下	1,000
舎尾線	谷畑から奥田前	1,012
坂線	県道から弘法堂	733
大林洞線	越原支所前から大林	1,740
向線	大林洞谷から角領界谷	1,113
山向山線	キャンプ場口から前山橋	1,005
計8路線		9,508

第二次舗装の実施路線

路線名	舗装区間	舗装延長
代線	県道から合田	056m
本西線	西ガ洞から細野比良	474
々東線	栗本英三氏宅前から終点	986
下野線	神矢橋から全部	627
須見大開線	長畑から大開	1,000
付下線	県道から安江利明氏宅前	425
付発田線	神付センターから終点	600
付線	土の屋下から曲坂庚申堂	871
通鈴原線	県道から鈴原	350
上親田線	有田秋夫氏宅前から岩屋	705
下親田陽気線	小笹口から島倉治氏宅前	1,200
下親田一木線	川原小屋から一木前	960
曲坂線	弘法堂から苅田虎太郎氏宅前	784
向境谷線	谷屋から終点	457
淵穴沢線	県道から貯水槽	1,000
大開神併用林道	出合から新巣橋	1,072
々小峠線	起点から田口不士男氏宅前	775
坂北垣外線	弘法堂から庚申堂	740
計18路線		13,982

待望の林道舗装が始まり、現在
工事が急ピッチで進められていま
す。

ことし舗装されるのは二十五路
線、総延長二万三千五百メートル
で、事業費は約二千四百万円が見



村道舗装は急ピッチ

込まれています。

この舗装は、さきに村かたてた
村道舗装五カ年計画（昭和四十六
年度～五十年年度）に基づき行なわ
れるものですが、資金の見通しが
たつたため予定より大幅に事業量
が増えました。

第一次実施分、第二次実施分
全体の約四十五パーセントが、こ
とし完成することになり、工期も
第一次が八月から九月、第二次も

九月から十月に行なわれます。

このため、舗装計画全体もくり
あげられる見込みで、村内の道路
網は、生活道開設の村費補助の制
度化と合わせて、いちだんと完備
することになりました。

東白川村道路舗装実施要綱によ
る路線の選定は、幅員が二・五メ
ートル以上でつぎに該当するもの
です。

一、住家に通ずる常時使用の生活
道

二、部落を結ぶ連絡道、循環道
三、公共共同施設に通ずる道路
これらの重要度などを勘案して
順次実施されます。

けいばん

■村職員を募集しています

村では昭和四十七年度に採用
する職員を、次のように募集し
ています。

希望者は期限までにお申し込
みください。

一採用予定人員 若干名

一受験資格

昭和四十七年四月一日現在
年満二十一歳未満の者で、
高等学校卒業以上の学歴を有
すること。

一採用試験

十月三日（日）午前九時か
ら東白川村役場

一合格者発表

採用試験後十日以内

一給与

給与は学歴等で決定するが
高等学校卒業で、二万六千円
を基準とします。

一応募期限

昭和四十六年九月二十日ま
でに所定の手続きをするこ
と。

一受験手続き

役場にある申し込み書に必
要事項を記入し、最終学校成
績証明書と写真を添えて、総
務課へ提出すること。

9月15日は敬老の日

88歳以上が21人

集いの場老人クラブも7つに

「お年寄りの生活より」をテーマとして、この敬老の日は国民の祝日として、全国各地でお年寄りに感謝の気持ちを表わすいろいろな催しが行なわれます。

村でもこの日、村長が数え年で八十八歳以上のお年寄りのかたがたを訪問し、記念品を贈って長寿を祝福するとともに、今までのご苦労に対してお礼をします。

ことは、昨年より五人も多い二十一人のお年寄りを訪問しますが、その中には本村最高齢者である明治八年生まれ、九十七歳の安江かねさん(五加柏本)色つやもよく元気なひとり暮らしの九十二歳安江かんさん(越原陰地)、年二回は、東京の娘のところへ夫婦で

で行かれます。また、老人クラブも村内一円に結成され、その数も七クラブとなりました。これらのクラブは、村内お年寄りの集いの場としての役割りを果たし、積極的な活動を続けています。

特に越原地区の長寿会、高砂会の活動は県下でも注目をあび、各クラブの模範となつています。

そして、クラブを結集して、東白川村老人クラブ連合会(会長村雲順一さん)が結成され、各クラブの連絡調整や指導を行なつて活動の成果をあげています。その活動内容は幅広く、講師を

一村の老人クラブ

クラブ名	会員数	会長氏名	地 域
長寿会	117	村雲 順一	曲坂、日向、陰地
高砂会	104	桂川 完一	栃山、黒淵、大明神
寿 会	92	古田 孝一郎	五加全域
清楽会	53	小池 武雄	大口、西洞
明青会	75	服田 勲	平
常磐会	70	今井 敏吉	中通、神付、中谷
福寿会	72	田口 盛松	加舎尾、下親田、上親田

何かがあろうと、若い世代にも見習う

老人に思いやりを

(敬老の日)



一村の高令者ベストテン

46. 8. 20現在

氏 名	年令	住 所	世 帯 主
安 江 かね	97	柏 本	安江 勝美
安 江 かん	92	陰 地	本 人
田 口 ぬい	91	大 明 神	田口 研治
古 田 せき	91	平	古田 芳一
川 尻 なを	90	大 明 神	川尻英太郎
安 江 わき	90	陰 地	安江 文一
桂 川 虎雄	90	陰 地	桂川 巴
古 田 てつよ	89	西 洞	古田 秀三
安 江 ため	89	黒 淵	安江 只文
安 江 志げの	89	日 向	安江 操

けいじはん

八月三十一日
産業土木常任委員協議会を開き、村道修繕計画について検討し、実施については地元希望をできるだけ取り入れるよう要望しました。

第二回目の村有林視察を、曲坂村有林、大明神村有林を対象に行ないました。

八月二十六日
産業土木委員が村内の道路視察を行ない、怪舗装などについて検討しました。

八月二十三日
産業土木委員が長谷部県議会議員を招き、主要地方道白川(加子母線)の全線改良の促進と、カーブの危険箇所については早急に改良されるよう陳情しました。

八月二十一日
村長、議長、副議長、各常任委員、産業土木委員が長谷部県議会議員を招き、主要地方道白川(加子母線)の全線改良の促進と、カーブの危険箇所については早急に改良されるよう陳情しました。

2 道路全線舗装をできるだけ早く終わるよう努めてほしい。

1 道路の排水について不適当なものは災害の原因となるので早急に改良してほしい。

2 道路の排水について不適当なものは災害の原因となるので早急に改良してほしい。

七月二十八日
二十七日の集中豪雨の被害状況について、産業土木委員が現地を視察し、村長に対して次のような要望をしました。

うれしい支給開始

今井さんら四人に老齡年金証書

村では、老齡年金の支給開始を記念して、さる八月十二日受給者の第一号、五加下野の今井ひささんほか三名のかたに、国民年金証書と記念品を村長から授与しました。

当日、証書を交付された人は次の皆さんです。

- 五加下野 今井ひささん
- 神土西洞 河田うたさん
- 神土大洞 今井ひでさん
- 神土平 今井たねさん

老齡年金支給は ことしが始めて

国民年金制度は、農家や商店など自営業者のかたがたなど、他の年金制度（厚生年金、各種共済組合など）に加入できない人を対象にして作られた年金制度です。

ちょうど今から十年前の昭和三十六年四月にこの制度が始まってから、保険料の納付が行なわれてきました。

今までは、掛金が主で年金を受けられたのは、障害や、母子になられたかたがただけでした。



証書は村長からひとりひとりに手渡された

↓ 交付された年金証書



としの五月からはいよいよ老齡年金が支給開始になりました。これらの人の年金額は六万円、（月額五千円）です。これから、もし五年受ければ三十万円、十年受ければ六十万円になります。

十年間で納めた保険料は、二万五千八百円ですからどんなに有利

な制度であるかわかりでしょう。またこの年金は、毎年三カ月分づつを四回に分けて支給され、一回の支給額は一万五千元です。

しかし、滞納した人はこの年金を受けられない場合があり、保険料を免除された人は年金額が少なくなるため、いちど民生課へご相談ください。そして、明るく楽しい老後をさせる年金制度を理解してください。

有利に改正

各種の年金

福祉年金も、年金額の引き上げや所得制限の緩和などが、毎年行なわれています。

ことしも次のように改正され、各年金とも三千六百元（月額三百円）引き上げられました。年金額の改正は次のとおりで、ことしの十一月分から実施されます。

	現	行	改	正
老齡福祉年金	24,000円	(2,000円)	27,600円	(2,300円)
障害	37,200円	(3,100円)	40,800円	(3,400円)
母子	31,200円	(2,600円)	34,800円	(2,900円)

() 内は月額

また、所得制限については、本人所得の場合三十五万円（現行三十二万円）、扶養義務者の場合、扶養家族三人で百二十万九千円、（現行八十七万三千二百円）まで引き上げられました。

障害者に対する老齡福祉年金の支給開始年齢も引き下げになりました。

障害福祉年金は、年金法の一級に該当する場合に支給されますが今回の改正で、二級に該当する人は、老齡福祉年金の支給開始年齢を、七十歳から六十五歳に引き下げられ、この十一月分から支給さ

山村開発センターをわが村に

その実現に村ぐるみの努力続く

国から見送られて来ましたが、ところが昭和四十六年度から、国の補助事業で「山村開発センター設置事業」が実施されることになり、山村開発の拠点として多目的に利用する施設を設置する場合高率の補助金が交付されることになりました。

村では、これを機会にかねてからの念願であった総合センター建設の方向へふみだすこととなり、議会、農協、森林組合、林材組合商工会、青年婦人団体、社会教育委員会など村内各種団体、機関をあげて、実現への努力を続けています。

名称は仮に東白川村山村開発センターとし、その構想は、鉄筋コンクリート四階建、建坪はおよそ二千万メートル（六百坪）以上となっています。

センターの中にふくまれる施設は第一に、農協、森林組合、林材組合、商工会、共済組合などの総合事務所と、機械計算センターをもうけて、いままでも各団体事務所がバラバラに散在していたための不便を解消し、皆さんが一方所で用が足せるようにする計画になっています。

現在、村の中心部には、集会和各種の研修、青年婦人団体の活動の中心になる施設は公民館ひとつですが、この公民館がすっかり老朽化し、またせまくて十分にその機能を果たすことができません。これに変わる新しい機能的な施設が各方面から望まれていたが、いま新しい建物を建てるとなると数千万円が必要であり、多くの事業をかかえている村財政の立

次に、青年婦人のための活動室や農村後継者のための研修室、商工業者のための研修集会室、図書室、健康相談室、調理実習室、農

林業経営相談室、青年会などをもとめて総合的な集会所センターとします。

あわせて村営移管が決定した新しい有線放送電話の交換本部室をもうけ文字通り山村開発のための研修、視聴覚教育、健康栄養指導農林商工業経営指導、情報伝達

被害額は三千万円

……もうたくさん集中豪雨



—無惨にえぐりとられた護岸（親田）

の被害となり、被害額は三千万円とになります。さらに公民館結婚、大集会のための部屋をもうけ、村民ならだれでも気楽に利用できる施設がねらいとされています。

建設場所、建物の規模、内容などは今後結成される建設委員会に

ろの教訓のとおり、また大きな痛手を負ったわけです。

しかし、八・一七災害の復旧箇所は、その教訓を生かしただけにその被害は最小限にいとめたとはいえましょう。

役場でまとめた被害の状況はつぎのとおりです。

橋、橋台流失または損傷

八カ所

せぎの流失または損傷

十一カ所

路測欠壊

十九カ所

河川護岸欠壊

三十四カ所

田畑の畦畔欠壊

五十四カ所

山くずれ

四カ所

以上の被害額の見積り

三千七十七万一千円

さいわい時間短かったために、あの八・一七災害のような被害はでなかったものの、災害は忘れたこ

これらの復旧については、すでに自力復旧できるものは終わったところもあり、公共または県単補助金の交付対象となる事業については、国または、県の査定を待つて決定することになっています。

でるぞ！ 一トン農家

機械化で張り切る養蚕農家

養蚕大規模飼育の第一段階の到達目標は年間一トンのまゆをとることです。

その一トン農家がこしは私たちの村にはじめて生まれそうになりました。

今まで待望されながらも、どうしても破れなかった一トンのカベが三々四人によって破られようとするのは、養蚕振興のうえで非常に意義深いことといえます。

大坪信也さん、安江化平さん、今井好美さんが一トン農家の初名乗りをめざして、残された晩秋蚕と晩々秋蚕を飼育されるわけですが、そのほかにもすぐあとに続く農家が控えています。

また西洞の安倍さんは自動飼育装置を導入して大規模な機械力によって飼育をするなど、私達の村の養蚕は今新しい方向に向かって力強く進もうとしています。

このように一挙に収蔵量が伸びたのは、六月号でも紹介した条払い兼用給条カーの実用化によるもので、今までの省力機械が果たせなかった、給条飼育から上乗へ

からまゆになる段階の作業)までの一貫した省力作業を、だれにでもできる簡単な装置で可能にしたからです。

現在この⑧式給条条払いカーと名付けた装置は、東白川村の収蔵量の五十パーセントにあたる農家に普及し、村を越えて全県下にも普及しつつあります。

田の切上げ、ドルシヨックと、嵐の中の日本経済の中で、農業も大きくゆれ動いています。養蚕は日本の伝統的産業として、農業の分野では国際競争力の強いもののひとつです。

ドルシヨックの一時的な混乱にまどわされず、しっかりとした生産基盤を着実にすすめる農家が、結局最後に生き残る農家です。

村と養蚕振興協議会では、養蚕を東白川農業の基幹として、いっそうその振興をはかっていく方針で、ことしの給条条払いカーの普及を土台にして、新しい養蚕振興計画を検討しています。そして、全飼育者が一トン養蚕をめざしがんばってほしいものです。

白川茶の振興を手がけてからもう十年、ヨチヨチあるきのあかちゃんがたくさん成長しました。

ことしの茶期は八月十三日の最終二番茶共販会で終わり、各製茶工場では精算事務をすまめていますので、もうすぐことしの実績が細部にわたって判明します。これに先立って概算でことしの

白川茶

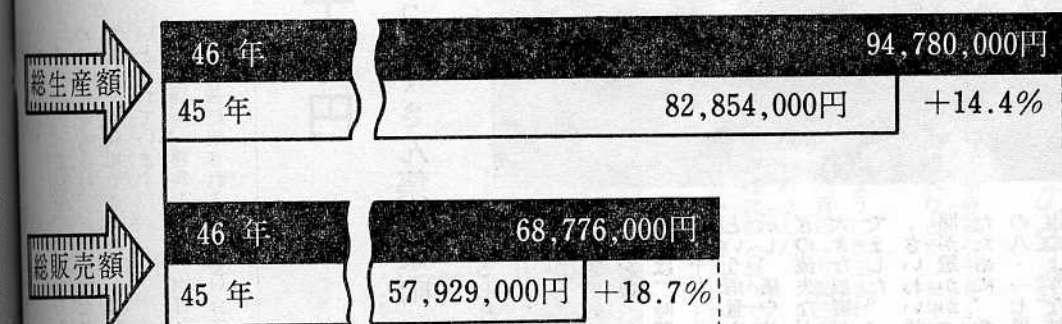
いよ 商品化へ

生産一億にもあと一息へ

成果をふり返ってみると図のようになります。

村の茶業振興の目標は、第一段階で生産金額で一億円、第二段階で販売金額一億円の太台に乗せることです。その第二段階一億円へ、あとひといきに迫りました。ことしは春の晩霜で大幅な被害を受けましたが、それを克服して一五パーセント近い増産となったことは、振興力の強い茶産地の

一億円



伸びる力が被害を上回ったといえますし。

もうひとつの特筆すべきことは白川茶の銘柄宣伝、消費宣伝に力を入れたことで、静岡茶の味付け的存在であったいままでの形にあきたらず、純粋な白川茶の味とおりを、直接消費者に味わってもらおうと、白川茶農協連、東白川茶業振興会などが中心となつてすましました。

まず五月九日から一週間、白川口駅ホームで新茶サービスを行ない続いて六月十二日から一週間、岐阜早ステーションデパートで試飲即売会、八月七日から九日まで新岐阜デパート、七月二十日から二十五日まで北海道札幌市で試飲即売会と、やつぎばやに実施して、いずれも白川茶の味の良さで好評を博しました。

これからは、向こうから値を付けてもらって売れる農業から、こちらで値を付けて売れる農業に脱皮しなければならぬその旗頭として白川茶は新しい一歩を踏み出したといえます。

来年は生産で一億、そしてその次は販売で一億と、ヨチヨチあるきのあかちゃん白川茶が、りっぱに成人式を迎えるみちのりを、着実に進んでいます。



秋の全国交通安全運動

こどもと老人の 事故防止

□飲酒運転防止を含め重点的に□

きたる九月二十七日から、十月六日までの十日間、秋の全国交通安全運動がくり広げられます。

この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇主、その他陸上交通に関係のあるすべての人に、交通安全思想の徹底をはかり、正しい交通ルールの実行を習慣づけて、交通事故防止を図ることを目的としています。

重点事項として、歩行者事故、特にこどもと老人の事故の防止と飲酒運転の絶滅をはかることにな

を、歩行者事故を起こさないために次のことから守り、実施しましょう。

一、学校や保育園のまわりの道路など、特にこどもと老人の通行の保護をはかる必要のある道路について、交通環境の再点検を行なう。

二、通学路など、歩行者の保護をはかる道路、交差点、横断歩道などを中心に、街頭における監視を強める。

三、運転者は、速度制限および一時停止などの励行、歩行者は正しい横断の励行を行なう。

四、十月二日は、こどもを交通事故

を、歩行者事故を起こさないために次のことから守り、実施しましょう。

五、いろいろな組織の協力を得て幼児および老人ならびに、その

災害誌を発行

八・一七災害復旧を記念

あの悲惨だった八・一七災害から、もう三年がたちました。

災害当時には、その復旧にいつ

たい何年かかるのか、どれだけの費用が必要なのか、私たちは途方にくれたものです。

しかし、三年たった今、そのほ

せた。

失なわれつゝある自然を求めて最近の都会や、その近郊の人たちの足は、いなかへいなかへと伸びてくる。

○

しかしながら、それが土、日曜祭日に集中し、せまいいなかの道が渋滞し、そしてその自然を求め愛するべき人たちが去ったあとは、空カンや空ビンなどのごみの山、岩つづじをはじめ、自然をい

ろどる草木がいたるところで掘りとられ、折られている。

○

とんどが改良復旧というかたちで生まれかわりました。村中一丸となつて、国や県の援助と指導を受けて、文字通りの悪戦苦闘を続けた結果なのです。村では、この完成を祝して、ちょうど三年目にあたる八月十七日を期して、八・一七災害の記録を発行しました。

当時の災害写真や、りっぱに生

のか。村がきれいな自然を誇り、

そしてそれをPRするのは、そういう人たちのためなのか。

山や川の自然を、そして道路をきれいにと村ぐるみのキャンペーンを進めているなかで、一日でそ

ういったことが台なしになつてしまふのは残念でならない。

○

かといって、そういう自然を村がひとりじめにするのもおかしい話、いまはたと自分たちのやるだけのことをやって、あとはその人

たちの道徳心に待つよりほかに方法がないのかも知れない。

またかわった現場の写真、図表などを収録し、村が受けた大きな試験の記録として、後世に残そうとしたものです。

この冊子は全世帯へ配布します

ので、今いちど当時をふりかえり

苦しかったあのころを思い起こ

してください。そして、いつたたび襲われるかも知れない災害などに備えたいものです。

○

わりきつて、村がその恵まれた自然を利用して金もうけの方法を

考えるか、恵まれた気候風土を生かして農林産物で金もうけをする

かは、すでに結論がでていることなのだが。

日曜、祭日の混雑やマナーの悪さをみるにつけ、怒りや疑問を持つのはひとりやふたりではないだ

ろう。

※このろばた放談に投稿を歓迎します。日常社会に対する不満や疑問、気ままな放談の場として利用してください。



村ささえる美しい心

うれしい善意を紹介

最近はずいぶん世の中といわれ、自分は自分、人は人といった考えかたが多くなったといわれています。

しかし、素朴で明るい私たちの村の人間関係は、そんな考えかたは通用しないようです。

どこにでも誇れる美しい人間関係は、何にも変えがたい村の大きな財産といえます。

今月は、そういう美しい人間関係の表われであるいくつかの善意を紹介しました。

―前村長の河田さん百万円を寄付

さる四月三十日、任期満了を機に退職された河田勘市前村長が、村のために役立てて欲しいと百万円を寄付されました。

村ではこのご厚意をありがたくお受けし、その使途について検討した結果、神土裏山の第一成人の山の隣にある藤井理市さんの山林六千四百四十二平方メートルの購入に、その全額を充てたいことに決

め、残りの六十万円は現在工事を進めているグラウンド施設整備費に使用させていただくことにしました。

―安江村長は給料の一部を一年間寄付

また、安江村長は就任してから給料の中から毎月三万五千円づつを、役場の事務机や椅子の購入費にと寄付を申し出られました。

庁内の机は、昔からのものが多く、それに大きさもまちまちだったのが、全部スチール製のものにとりかえられ、配置もすっきりしました。

―米寿記念に二万円を寄付された大沢の今井さん

米寿を記念して現金二万円を社会福祉のため役立てて欲しいと、役場へ届けられました。

村ではそのご厚意をありがたくお受けし、五加保育園の備品購入にその全額を充てたいことに決

三歳児は反抗の時期、つまり第一反抗期です。自我の芽ばえとしてとうぜんの成長過程です。この芽をいかに伸ばしてやるかが、親やまわりの人の腕です。

何んでもいうなりに甘やかしてしまふ。それかといって、頭からどなりつけて萎縮させてしまふのも困ります。

こども自身、だれかに頼りたい気持ち、自分ひとりでやりたい気持ちのふたつの気持ちが混乱していつてわからないのです。

ひとつの例を考えてみましょう。ひとりでできるくせにやってみてと、甘えます。できることにまで手をかけてしまつては、甘えん坊にしてしまふのではないかと

しました。

―自作の掃除道具を寄付された長寿会のみなさん

ことしも越原老人クラブ長寿会の皆さんが、手わけして作られた竹ぼうき五十本を、役場や、学校で使つてほしいと届けられました。

いずれも手づくりのじょうぶなものばかりで、使う方は大助かりさつそく配分のうえ、美化に役立っています。

う心配はもつともです。

この年齢ではよくみられる現象です。独立したいという主張、依存したい主張、この両方の気持ちをしょうずに満足させてやりなが



―三歳児の巻―

ら、ひとりだちへ近づけることこそ、おかあさんの腕のみせどころです。

はだかのままやつてと立っていったら、あなたはとさされるでしょう。

う。はいはいと全部やってしまえば依存したい気持ちは満たされるでしょうが、独立への道はとざされてしまいます。

また自分でやりなさいといえは反対のことがおこります。方法はふたつだけではありません。

では、パンツはおかあさんがはかせてあげますから、シャツはボク。次の上着はおかあさん、ズボンはボクと、これだつたら依存したい気持ちと満足させながら自分でやる習慣を身につけていくことでしよう。

依存したいときはいつても依存させてもらえるという安心感が、あつてこそ独立心は育つものなのです。

すので、総務課内広報の係まで連絡ください。

■来月号からトピックス欄を復活させます。家庭でのめづらしいこと、めづらしいものの連絡ください。

■広報紙でこんなことをとりあげてほしい、知らせしてほしいといったことがありましたらお寄せください。

■今月号に、号外として村の予防接種予定表を折込みましたので利用ください。



■広報に文芸的な記事をとの声をあげます。

みなさんが日ごろ趣味でつづられている俳句、短歌、詩、写真などなんでもけっこうですからお寄せください。小中学生のみなさんでもけっこうです。

■広報紙の三年分ほど、部数に限りがありますが、残数があ